

食欲の秋 食事が持つ力を実感～デイサービス銭形～

9月中旬の数日間、デイサービス銭形では外出レクリエーションとして、皆様お馴染みのファミリーレストラン『ガスト』へ昼食に出かけました。久しぶりの外食のお出かけとあって、「行ったら何を食べようかな？」と当日を心待ちにされていた方も多く、行きの車の中では笑顔とワクワク感が溢れていました。

お店に到着すると、さっそくメニューや電子タブレットからそれぞれ食べたい料理を選んで注文しました。大きなハンバーグや揚げたての海老フライ、季節のパスタなど、日頃のデイサービスの昼食では味わえないご馳走を嬉しそうに頬張る姿がとても印象的でした。普段は小食の方もその時ばかりはしっかりと召し上がられ、中にはデザートまで注文された方もいて、参加された方々は驚くほど旺盛な食欲を発揮されていました。

また、銭形フェスティバル直前の9月23日には、秋のイベント食第一弾として、一足お先に鉄板焼きの屋台を組み立てて、今や当デイサービスの“てっぱんメニュー”のひとつとなった『昔ながらのナポリタンスパゲッティー』をつくって、利用者様に召し上がっていただきました。

お昼時が近づき、外の駐車場から流れてくる具材を炒める香ばしい匂いと秘伝？のケチャップソースの香りがデイサービスのフロアーに漂い始めると、利用者様からは「いい匂いがしてきたなあ！」「お腹減ったし早く食べたいわ。」と期待の声が上がります。

焼き上がったばかりの程よい酸味と辛さが際立つナポリタンスパゲッティーは、「おいしい！」と利用者様に大好評で、おかわりを希望される方も多く、口いっぱい広がる昭和レトロな味わいに皆様大満足のご様子でした。「また作ってな！」とのお声もいただき、調理に当たった“にわかシェフ”たちもガッツポーズです。

日常のデイサービスでは利用者様は黙々と短時間で昼食を済まされ、日によっては箸が進まずに残される方もいらっしゃいますが、外食やイベント食の際には、目を輝かせて興味津々で食事に向



かわれている姿にいつもとても嬉しい気持ちになります。とりわけ外食のお出かけでは、同じテーブルを囲んで日頃とは違った雰囲気ですと、皆様自然と笑顔がこぼれ、楽しく会話が弾んで、食事のひと時が利用者様同士の絆をつなぐ大切な機会になっていると感じる場面がよくあります。今回の企画でも食べることは単に栄養補給にとどまらず、気持ちを明るくしたり、人を前向きにしたり、時には人と人が和やかに交流する場を生み出したりするという、食事が持つ大きな力を改めて実感することができました。

今後もデイサービス銭形では、利用者様が「おいしい」「楽しい」「嬉しい」と思えるような食事の機会をご提供し、皆様により豊かな時間を過ごしていただけるように努めていきたいと思えます。食欲の秋はまだ続きますので、次の企画にもどうぞご期待ください。（執筆：八木 拓）

☆☆☆ 銭形フェスティバル.2025 開催 ☆☆☆



9月28日（日）、銭形グループでは毎年恒例の『銭形フェスティバル』を開催しました。今年は秋になっても残暑が厳しく、会場の暑さが心配されましたが、当日の空は薄曇りで最高気温も30℃前後とまあまあ凌げる天気となりました。（それにしてもこの夏の暑さは凄かった！！）

今回の屋台は、現在開催中の『大阪・関西万博』にちなんで国際色を意識したメニューを取り揃えました。銭フェスでお馴染みの焼きそばや唐揚げ、フランクフルトなどに加え、チーズトッポギやトルティーヤチップス、冷やしパインなどの変わり種も登場しました。



午前11時、天理教員榮鼓笛隊の可愛らしいマーチングバンドの演奏を皮切りに銭形フェスティバルがスタートしました！ デイサービス銭形の駐車場の両側に立ち並んだ屋台には、職員たちが一生懸命につくる逸品を買い求めてたくさんのお客様が行列をつくり、今年も予想以上の大盛況です！



やはり、お祭り屋台の定番の焼きそばや唐揚げ、昨年登場ながらレギュラーの座をつかんだイカ焼きは今回も人気を博していましたが、今年初参戦を果たした多国籍メニューたちも大健闘を見せ、来年につながる新たな可能性を感じました。前回よりも大幅に食数を増やして挑んだ今年の銭フェス屋台でしたが、ラストオーダーの12時半ごろにはほぼ完売となりました。みなさん今回の味はいかがでしたでしょうか？

今回の銭形フェスのテーマは万博。そこで、余興もインターナショナルをモチーフに、『USA』→『Pon de SKY, Pon de STAR』→『ナルトダンス』へと小気味よく展開し、最後は日本の無形重要文化財とも呼ぶべき『マツケンサンバ』で締めくくるという豪華絢爛なダンスパフォーマンスを銭形ダンサーズが見事に演じきりました。

日ごろはヘルパーやデイサービスの介護現場で働く職員たちの違った意味での頑張りに、会場のお客様からは大きな拍子と笑い声が巻き起こっていました。

いまでは銭形グループの新人の登竜門となった銭フェスのダンス。白羽の矢が立った職員たちには明るい未来が待っていることでしょう。本当にお疲れ様でした！

銭フェスの最後を飾るアトラクションは『銭フェス Numbers』です。今年

は“令和の米騒動”と称されるほどお米の供給不足と高騰が世間を大きく騒がせており、今回も賞品にはデイサービス銭形自慢の新潟県妙高産コシヒカリを大放しました。そのほかにも USJ チケットや人気家電、話題の玩具など様々な賞品をご来場のお客様にお持ち帰りいただきました。欲しい物が当たった方、当たらなかった方いろいろいらっしまったとは思いますが、当選番号が読み上げられるたびに賑やかな歓声とため息が起こり、会場は大いに盛り上がりしました。

皆様、今回も銭形フェスティバルを楽しんでいただけましたでしょうか？ たくさんの方々をご来場くださり、日頃の感謝をお伝えできたことを何よりも嬉しく思います。次回もお会いできることを心から楽しみに、皆様のお越しをお待ちしております。

(執筆:上原 啓輔)



芸術の秋 2大キャラクター夢の共演～デイサービスこまち～

放課後等デイサービスこまちでは、銭形フェスティバルに向けて、子ども達と一緒に銭形グループのキャラクター「平治君」（非公認）と、大阪・関西万博のイメージキャラクター『ミャクミャク』のちぎり絵制作に取り組みました。

まずはみんなで見本を眺め、「この色はどこかな？」「ここはもう少し細かくちぎろう！」と話し合いながら、それぞれの部分に合った色画用紙を選び、手でちぎってノリで貼っていきました。最初は粗くちぎってしまう子もいましたが、だんだんコツをつかんでいき、細かい部分まで丁寧に仕上げようとする姿が印象的でした。作業の中では、ちぎった紙を貼るときに台紙の白地が見えないようにパーツの組み合わせを工夫する子や、お友達に「ここ手伝おうか？」と声をかける子もいて、それぞれが工夫を凝らし、協力し合って取り組むことができました。完成した作品はとても出来栄が良く迫力もあり、子ども達も「できたー！」「すごーい！」と達成感いっぱいの表情を見せてくれました ✨

出来上がったちぎり絵は、日ごろの活動の写真と一緒に、フェスティバル当日に来場されるお客様が目を止めてくださるよう、子ども達と掲げる位置を念入りに相談し、フロア内の壁に展示しました。

子ども達のがんばりとアイデアがたくさん詰まった素晴らしい力作をみなさんもお覧いただけましたでしょうか 😊
(執筆：堀 有希)



🍁 新任スタッフのご紹介 🍒



橋本 桂典(はしもと けいすけ)

訪問介護銭形 所属

介護業界は初めてなので、早く一人前の介護職になれるよう、日々全力投球で頑張ります！
前職はアパレル店員なのでファッションで困ったら声をかけて下さい。



**山品 優梨
(やましな ゆうり)**

デイサービス銭形 所属

デイサービスのお仕事は初めてですが、一つ一つ丁寧にサービス提供ができるように頑張ります。



大森 友登(おおもり ゆうと)

理学療法士

銭形企画訪問看護ステーション CoCo 所属

以前は病院と福祉用具会社で勤務していました。今までの経験を活かし、関わる方々の生活がより良いものになるように頑張ります。

おかげさまで銭形グループは創業 30 周年。
これからも「あなたに出会えてよかった」の思いを胸に、未来に向かって歩み続けますので、これからも変わらぬご愛顧をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



『銭形 Times vol.62 秋号』

発行元：銭形グループ 銭形 Times 編集室 上原啓輔・佐々木一喜・吉村翔・八木拓・堀有希
〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町 594 番地 33 株式会社銭形企画
TEL : 075-353-4899(代) FAX : 075-354-3037 URL : <https://zenigata-group.jp/>